

みやざき 県議会の動き

No.88
12
2022

令和4年12月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



9月定例会

9月定例会の概要

9月定例会は、9月2日(金)から10月7日(金)までの36日間にわたって開催され、代表質問において4名、一般質問において11名の議員が質問を行ったほか、常任委員会及び特別委員会において、付託された議案の審査や所管事項の調査などが行われました。

また、前年度の決算関係議案について専門的な審査を行うため、決算特別委員会を設置し、予算が適正に執行されたかなどの観点から慎重に審査を行いました。

この結果、「令和4年度宮崎県一般会計補正予算(第3号)」など29件の知事提出議案を原案のとおり可決、認定又は同意したほか、「令和4年台風第14号による被害に対する支援を求める意見書」など7件の議員発議案を原案のとおり可決しました。

なお、開会初日に新副議長選挙を行い、二見康之議員を新副議長に選出しました。

可決等された主な知事提出議案

- 令和4年度宮崎県一般会計補正予算(第3号、第4号)
新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策など、2件あわせて約400億円の増額補正が行われ、その結果、一般会計の予算規模は6,977億8,391万7千円となりました。
- 令和3年度宮崎県歳入歳出決算の認定について

可決された主な意見書

- 地方の中小企業・小規模事業者への支援充実を求める意見書
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書
- 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書
- 私学助成の拡充・強化を求める意見書
- 台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)参加を積極的に支援するよう求める意見書
- 令和4年台風第14号による被害に対する支援を求める意見書

県議会では、こうした課題に対する各種の施策に県民の皆様の声を反映させるため、執行部と活発に議論を交わしながら十分な審議を行い、引き続き、県勢のさらなる発展に全力で取り組んでまいります。

また、中野議長を補佐しながら、円滑な議会運営に努め、県民の皆様の御期待と信頼に精一杯応えてまいりますので、変わらぬ御支援、お力添えをお願いいたします。



副議長
ふたみ やすゆき
二見 康之
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

本県におきましては、少子高齢化による人口減少や、基幹産業である農林水産業における担い手不足、大規模な自然災害への対策に

え、長引くコロナ禍や、原油価格・物価の高騰への対応など、依然として多くの課題が山積しております。

「いあいさつ」

代表質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
代表質問の様子は、県議会ホームページの議会中継(録画)で
ご覧いただけます。



のぎ こうし
野崎 幸士
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

コロナ禍における今後の観光対策について

問 今後のインバウンド対策は。

答 商工観光労働部長 まずは、韓国・台湾・香港を対象に福岡空港等の他県空港を経由した誘客を図り、さらには宮崎空港発着の国際定期便の早期再開につなげてまいりたい。

問 観光宮崎の更なる発展への取組は。

答 知事 整備中の屋外型トレーニングセンターの活用等により、スポーツによる誘客を一層拡大するとともに、宮崎再生基金の活用等により、本県の魅力を国内外に広く発信し、観光宮崎の再生と更なる発展に尽力する。



はますな まもる
濱砂 守
議員
宮崎県議会自由民主党
西都市・西米良村選出

新型コロナウイルス感染症対策について

問 国が示した感染者の全数把握に係る見直しの方針に対し、県としてどのように対応するのか伺いたい。

答 知事 国からは、今後全国一律での見直しを進める方針が示されており、県としては、医療機関等の更なる負担軽減のため、見直しが必要という基本的認識の下、この動きを前向きに受け止め、医師会や市町村等とも意見交換を行いながら、必要な対応について検討を進めてまいりたい。



やまうち かなこ
山内佳菜子
議員
県民連合宮崎
宮崎市選出

国葬への対応について

問 安倍元首相の国葬に対して、「法的根拠がないのでは」「内心の自由が脅かされるのではないか」と心配する県民もいる中、県としてどのように対応するのか。また、知事は国葬に参列する意思はあるのか。

答 知事 「国民一人一人に弔意を求めるものとの誤解を招かないように対応する」政府の方針を踏まえて適切に対応する。安倍元首相に多大な貢献をいただいた自治体の長として感謝と哀悼の誠を捧げたいので、参列案内がきたら適切に対応したいと考えている。

※令和4年9月8日現在の答弁です。



さかもと やすろう
坂本 康郎
議員
公明党宮崎県議団
宮崎市選出

半導体産業に対する本県の取組について

問 九州において半導体関連企業の投資拡大の動きが活発化する中で、本県としてどのように取り組んでいるのか。

答 商工観光労働部長 本県への新たな投資や県内企業の取引拡大等につながる好機と捉えており、本県の立地環境のPRや、県内企業に対して、技術力向上のための情報提供や商談の場を提供する取組等を行っている。引き続き、半導体産業全体の動向を注視しながら、企業誘致及び県内企業の振興につながる取組を積極的に進めてまいりたい。

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
一般質問の様子は、県議会ホームページの議会中継(録画)で
ご覧いただけます。



みつゆき じゅんいち
満行 潤一
議員
県民連合宮崎
都城市選出

県内のローカル鉄道について

問 今後どう残していくのか伺いたい。

答 知事 鉄道は大量輸送における定時性、速達性に優れ、環境負荷も低い公共交通で、県民生活を支える重要な基盤。私も、宮崎県鉄道整備促進期成同盟会の会長として毎年度、JR九州を訪問し、路線の維持や利便性の向上などを要望している。国のローカル線のあり方等の検討状況を注視しながら、沿線自治体とともに、路線の維持・存続に向けた取組を進めていく。



かわの てつや
河野 哲也
議員
公明党宮崎県議団
延岡市選出

不登校特例校の設置促進について

問 不登校の児童生徒に配慮した不登校特例校の設置促進が求められる中、教育長の考えは。

答 教育長 本県でも不登校児童生徒が増加傾向にあり、教育の機会を確保することの必要性から、不登校特例校は学びの場の一つであると認識している。児童生徒の社会的自立に向けた学びの確保に向けて、国や他県の動向を注視しながら、市町村に情報提供を行うなど、適切な対応に努めてまいりたい。



にしむら さとし
西村 賢
議員
宮崎県議会自由民主党
日向市選出

子育て環境や出生率の低下について

問 長期コロナ禍で影響を受けた子育て環境や出生率の低下をどのように考えているのか。

答 知事 将来への不安などから、結婚や妊娠を控える傾向が見られ、更なる出生率の低下が懸念されるとともに、こどもの貧困や虐待などの子育て環境の悪化にもつながりかねないことに強い危機感を持っている。引き続き、「子育てを楽しいと感じられるみやぎ」づくりに向け、必要な施策を展開していく。



かわすま ひろし
川添 博
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

県道学園木花台本郷北方線の山下工区の進捗状況について

問 県道学園木花台本郷北方線の山下工区の進捗状況について伺いたい。

答 県土整備部長 高速道路や空港・港湾などへのアクセス性の向上と宮崎市南部地域の渋滞緩和にとっても重要な路線であり、用地取得も順調に進んだことから、今年度中に、橋梁工事に一部着手することとしている。

今後も必要な予算を確保し、早期整備に取り組みたい。



くぼたの たつ や
達園 辰也
議員
宮崎県議会自由民主党
小林市・西諸県郡選出

地域医療における医師確保対策について

問地域枠の卒業医師の県内定着への取組は。
答福祉保健部長 卒業後、県内で9年間、うち4年間を医師少数区域等で勤務する「キャリア形成プログラム」の充実を図るとともに、期間中における県外研修・海外留学等に柔軟な対応をしている。また、専門医の取得支援や特定診療科専門研修に係る資金貸与も実施している。勤務環境の改善としては、女性医師の仕事と家庭の両立や復職支援等に取り組んでいる。



らいじゅう かずひと
来住 一人
議員
日本共産党宮崎県議会議員
都城市選出

国葬とパートナーシップ制度導入について

問国は、国葬は故人に対する敬意と弔意を国全体で表す儀式としている。弔意を求めることは明らかな憲法違反だ。県職員に黙祷を求めないのか。
答知事 国が国民に弔意を求めないという方針に基づいて対応するものである。
問パートナーシップ宣誓の導入に県民の理解が大切と言うがパンフさえ作成していない。
答総合政策部長 パンフ等については何とかしていきたい。



ひだか としあき
白高 利夫
議員
宮崎県議会自由民主党
東諸県郡選出

米粉を使用したパンや麺、スイーツの将来性について

問米粉を使用したパンや麺、スイーツの将来性について、永山副知事の感想を伺いたい。
答永山副知事 今後の世界的な人口増加や昨今の国際情勢などを踏まえると、食料を自給することの重要性は高まるばかりで、米粉の活用は、食料自給率の向上はもとより、水田の活用促進にもつながるものであることから、国としても積極的に取り組むこととしており、県も米粉の利用促進を支援していきたい。



まるやまゆうじろう
丸山裕次郎
議員
宮崎県議会自由民主党
小林市・西諸県郡選出

県内肉用牛の脂肪の質の向上について

問県は「脂肪の質」について、どのような戦略を持って取り組むのか伺いたい。
答農政水産部長 畜産試験場において、県内で生産された肥育牛の脂肪の質に関するデータを収集・分析し、おいしさの検証を進めることに加え、脂肪の質に着目した種雄牛の造成を図るため、関係団体とともに、関連する遺伝子を解析し、選抜を行うなど、県内肉用牛の脂肪の質の向上に努めている。



いわきり たつや
岩切 達哉
議員
県民連合宮崎
宮崎市選出

共に生きる社会の実現について

問障がいのある方が安心して生きることができると社会の実現にどう取り組むか。
答知事 定例記者会見に手話や字幕を導入するなどの取組を進めている。しかし私たちの社会の中には誤解や偏見、理解不足など取り除くべき障壁がある。改正障害者差別解消法等の趣旨を踏まえ、県民や事業者に周知を行い、普及啓発の取組や意思疎通支援などを通して共生社会の実現につなげていく。



とやま たかもと
外山 衛
議員
宮崎県議会自由民主党
日南市選出

水産行政について

問かつお・まぐろ漁業は遠方まで出漁することから、燃油・物価高騰の影響を非常に大きく受けるが、この対策について伺いたい。
答農政水産部長 県では、県漁連などに対する資材販売の経費補助により、漁業用資材の価格上昇抑制に取り組むほか、漁業者に対して漁船の整備・修繕費用を支援している。今後も物価高騰の影響を注視し、漁業者が安心して経営を継続できるよう努めていく。



ずし ひろあき
凶師 博規
議員
無所属の会チームひむか
児湯郡選出

尾鈴県立自然公園の安全確保整備について

問今年の7月と8月に尾鈴県立自然公園で遭難事故が発生した。私が尾鈴山登山をして、現地確認したところ、倒木が道を塞ぎ、歩行用防護柵や手すりは流木になぎ倒されたまま放置されていた。これ以上の事故が発生してから整備では遅い！即刻対処すべきである。
答環境森林部長 都農町や関係団体の意見を伺い、利用者の安全な通行を確保するための施設改修など必要な整備に取り組む。

県議会インターンシップの実施

9月定例会では、県内の若い世代に県議会の役割や仕組み等について理解を深めてもらうため、宮崎産業経営大学から4名の学生をインターンシップ生として受け入れました。インターンシップでは、主に、本会議や委員会での補助業務、議会広報に対する若者目線での改善提案など、議会運営に関する様々な業務を体験してもらいました。

学生からは、「初めて本会議の代表質問を生で傍聴し、一つひとつの県政の課題に向き合う大変さを肌で感じた。」「議長・副議長との歓談では、物事を決めていく上で協力することの必要性や挑戦することの大切さを教わった。」との感想がありました。

今後も、引き続き多くの若者に県議会への関心を持ってもらえるよう、様々な取組を行ってまいります。



議長・副議長とインターンシップ生との交流の様子

11月臨時会の概要

11月臨時会は、11月1日(火)から2日(水)までの2日間で開催されました。令和4年台風第14号による災害や原油価格・物価高騰等への対策として、「宮崎県一般会計補正予算(第5号)」など4件の議案が提案され、慎重な審議を行った結果、全て原案のとおり可決しました。

今回の補正では、一般会計と公営企業会計を合わせて約255億円が増額され、その結果、一般会計の予算規模は、約7,231億円となりました。

特別委員会

9月定例会中及び閉会中における各委員会の最近の活動を紹介します。

ゼロカーボン社会づくり推進対策

9月定例会では、兵庫県立大学の増原直樹准教授からゼロカーボン実現のポイントなどについて、オンラインで説明を受けました。10月には、脱炭素に向けた取組等について、福島水素エネルギー研究フィールド(福島県)など4件の県外調査を行いました。



福島水素エネルギー研究フィールド(福島県)

デジタル化推進対策

9月定例会では、環境森林部から林業におけるICT化等の推進について、農政水産部から農畜水産業におけるデジタル化の推進について、説明を受けました。10月には、国のデータ戦略等について、デジタル庁(東京都)など4件の県外調査を行いました。



デジタル庁(東京都)

こどもの未来応援対策

9月定例会では、教育委員会からいじめや不登校の現状と支援について、説明を受けました。10月には、子ども・子育て支援の取組等について、社会福祉法人佛子園(石川県)など5件の県外調査を行いました。



社会福祉法人佛子園(石川県)

常任委員会

9月定例会の主な審査状況や10月の県外調査の概要を紹介します。

総務政策

9月定例会では、宮崎再生基金について、タイムリーに事業を実施するためにスピード感を持って取り組むとともに、県民に向けて積極的に広報を行うよう要望しました。10月には、ふくいDXオープンラボ(福井県)など4件の県外調査を行いました。



ふくいDXオープンラボ(福井県)

厚生

9月定例会では、ひなた飲食店認証店応援強化事業について、地域経済活動の本格的な回復を図るため、飲食券の利用可能店舗のさらなる拡大に向けた取組を推進するよう要望しました。10月には、児童養護施設舞鶴学園(京都府)など5件の県外調査を行いました。



児童養護施設舞鶴学園(京都府)

商工建設

9月定例会では、中小企業融資制度貸付金について、長引くコロナ禍や物価高騰の影響を受けた県内企業の現状を適切に把握し、融資制度に留まらない出口戦略を見据えた経営支援等もより一層推進するよう要望しました。10月には、白老町役場(北海道)など4件の県外調査を行いました。



民族共生象徴空間ウポポイ(北海道)

環境農林水産

9月定例会では、肥料価格高騰対策支援事業について、農家経営の安定と農業生産の維持を図るため、事業の効果が行き渡るように制度の周知を徹底するよう要望しました。10月には、タキイ種苗株式会社(京都府)など5件の県外調査を行いました。



タキイ種苗株式会社(京都府)

文教警察企業

9月定例会では、公益財団法人宮崎県暴力追放センターの経営状況に関連して、暴力団のいない安心・安全な宮崎県を目指して、暴力団排除に係る取組をより一層推進するよう要望しました。10月には、名古屋市立山吹小学校(愛知県)など6件の県外調査を行いました。



名古屋市立山吹小学校(愛知県)

お金のかからない政治の実現にご理解を!

政治家が選挙区内の人に、お金の物を贈ったり、有権者が政治家に寄附を求めることは、公職選挙法により、禁止されています。

例えば、

- 地域のスポーツ大会やお祭りへの寄附、飲食物の差入れなど、各種行事に金品を贈ること
- 歳暮、中元、花輪、生花、祝儀などを贈ること

は禁止されています。また、年賀状などのあいさつ状を出すことも、禁止(自筆の答礼を除く)されています。

さらに、宮崎県議会では、

- 上記行為を選挙区外でも行わないこと
 - 選挙区内外を問わず、祝電・弔電を打たない
 - 贈らない、求めない、受け取らないの「三ない運動」を遵守すること
- を申し合わせ、お金のかからない政治の実現を目指しています。



県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年11月定例会

11月定例会は、12月7日(水)まで開催しています。
詳しい日程は、県議会ホームページをご覧ください。

<訂正>「県議会の動き」No.87(10月号)

前回10月号の4ページにおいて、一部表記に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。
お詫びして、訂正いたします。
(誤) 決算(令和4年度)の審査日程
(正) 決算(令和3年度)の審査日程



▲県議会HP



▲県議会公式facebook